

おやま 市議会だより



第319号

●主な内容

令和6年度一般会計補正予算 18億8053万5000円の増額を可決

議案とその内容……………	②	意見書……………	④
人事案件……………	②	委員会報告……………	⑤・⑥
議会日誌……………	②	視察来訪・議場見学……………	⑦
審議結果……………	③	市政一般質問……………	⑦～⑫
議員提出議案……………	③	表彰……………	⑫
請願・陳情……………	④	次回定例会の予定……………	⑫

令和6年8月1日号



でっかい夏みっけ！（撮影場所：小山市大字田間 撮影者：岩木 真己氏）

小山市議会

編集 議会広報委員会

6月定例会のあらまし

令和6年6月6日～6月28日

令和6年第3回（6月）定例会は、6月6日から6月28日まで23日間の会期で開かれました。6月定例会では、令和6年度補正予算案をはじめ、条例の一部改正・廃止案、財産の取得案、人事案件および請願・陳情などについて審議しました。6月6日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて、議案20件が上程され、提案理由の説明を受けた後、議案7件を可決しました。その後、議員提出議案1件が上程され、これを可決しました。6月10日から13日は、4会派および11人の議員が市政一般質問を行いました。13日は、上程議案に対する質疑の後、議案および請願・陳情を各委員会へ付託しました。また、6月17日から6月21日まで各委員会が開かれ、議案および請願・陳情を審査しました。6月28日には、各委員長報告があり、審議の結果、議案13件を可決、陳情1件を採択、請願1件および陳情4件を不採択としました。さらに議員提出議案1件が追加上程され、これも可決し、定例会を閉会しました。

主な議案

6月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆令和6年度小山市一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ18億8053万5000円の増額補正。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、新たな住民税非課税等世帯給付金給付事業費、間々田地区新設保育所整備事業費など、補正後の総額は、731億3053万5000円。

◆小山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

小山市において市民等がもやすすかないごみを排出するにあたって、指定ごみ袋の使用を義務付け、分別および再資源化の意識を高めることにより焼却処分するごみの削減を図ることを目的として、所要の改正をするもの。

◆財産の取得について（コミュニティバス車両）

コミュニティバス車両（いすゞ中型路線バス・エルガミオ）を購入することについて、議会の議決に付すべき契約および財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により提案するもの。

人事案件

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

小山市西城南1丁目 高橋 剛（再任）

◆人権擁護委員候補者の推薦について

小山市大字下石塚 野澤 容子（再任）

議会日誌

〔4月〕

15日 栃木県市議会議長会議
・意見交換会

23日 議会報告会運営委員会
／議員説明会／議会広
報検討専門部会

25日 関東市議会議長会定期
総会

〔5月〕

10日 市執行部との定例懇談

会／会派代表者会議

14日 議員説明会／議会報告
会全体会議

16日 議会運営委員会／議会
報告会運営委員会

22日 全国市議会議長会定期
総会

31日 議会運営委員会

〔6月〕

6日 議会広報委員会／議会
広報検討専門部会

17日 民生常任委員会

18日 教育経済常任委員会

19日 建設水道常任委員会

20日 総務常任委員会

21日 予算審査常任委員会

28日 議会運営委員会／会派
代表者会議

〔7月〕

12日 議会広報委員会／議員
説明会／議会運営委員
会

令和6年第3回定例会（6月）審議結果

議決結果

議案番号	件名	議決結果	
予 算			
議案第48号	令和6年度小山市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
条 例			
議案第49号	小山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第50号	小山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第51号	小山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第52号	小山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第53号	小山市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第54号	小山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第55号	小山市立学校設置条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第56号	小山市新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者等利子補給事業基金条例の廃止について	原案可決	全会一致
その他の議案			
議案第57号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第58号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第59号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第60号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第61号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致
議案第62号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致
議案第63号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第64号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第65号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第66号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第67号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議員提出議案			
議第3号	小山市議会永年議員表彰の決議の提出について	原案可決	全会一致
議第4号	特定商取引に関する法律の抜本的改正を求める意見書案の提出について	原案可決	全会一致
請 願・陳 情			
請願第6-1号	国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	賛成少数
陳情第6-1号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情	不採択	全会一致
陳情第6-3号	消費者被害を防止、救済するため、特定商取引法の抜本的な法改正を求める意見書を政府等に提出することを求める件	採 択	全会一致
陳情第6-4号	現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情書	不採択	賛成少数
陳情第6-5号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	賛成少数
陳情第6-6号	コロナワクチン予診票の保存期間を5年間から無期限での保管へ改めることを求める陳情	不採択	賛成少数

賛否一覧表

議決結果	採 択 不採択	鶴見 貴弘	廣瀬 武蔵	永田健一朗	直井 一博	島 朋幸	石川 敦子	大内 晃子	片山 照美	平野 正敏	細野 大樹	大平 拓史	渡辺 一男	佐藤 忠博	高橋 栄	嶋田 積男	土方 美代	橋本 守行	篠崎 佳之	森田 晃吉	植村 一	苅部 勉	福田 幸平	小林 英恵	福田 洋一	山野井 孝	荒川美代子	小川 亘	関 良平	
																														○
請願第6-1号	不採択	6:21	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
陳情第6-4号	不採択	6:21	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
陳情第6-5号	不採択	2:25	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情第6-6号	不採択	2:25	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ ○=採択 ×=不採択 ※ 議長（篠崎 佳之）は採決に加わりません。

議 員 提 出 議 案

6月6日、苅部勉議員ほか7名から「小山市議会永年議員表彰」の決議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

◆小山市議会永年議員表彰の決議の提出について

小山市議会永年議員表彰に関する内規により、小山市議会議員として在職25年以上にわたり市政の伸長発展に尽力された関良平議員に対し、その功績を表彰するもの。



篠崎議長（右）から表彰状を受け取る関議員（左）

請願・陳情

6月定例会では、閉会中の継続審査となっていた陳情1件、新たに受理した請願1件および陳情4件について審議しました。その結果、陳情1件を採択、請願1件および陳情4件を不採択としました。

(審査の経過については「委員会審査から」をご覧ください。)

新たに提出があったもの

●国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願

〈趣旨〉マイナンバーカードと一体化されたマイナ保険証の取得は、申請による任意の判断のみに基づくとの原則を明確にし、マイナ保険証に対する国民の不安が払拭されるまでは、健康保険証を存続させるよう国への意見書の提出を求めるもの。

▽審査結果 不採択

●消費者被害を防止、救済するため、特定商取引法の抜本的な法改正を求める意見書を政府等に提出することを求める件

〈趣旨〉幅広い世代の消費者被害を防止、救済するために、特定商取引法の抜本的な改正をするよう国への意見書の提出を求めるもの。

▽審査結果 採択

●現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情書

〈趣旨〉2024年12月から始まる健康保険証の廃止を中止し、当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証を両立するよう国への意見書の提出を求めるもの。

▽審査結果 不採択

●「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

〈趣旨〉最低賃金法を改正し、全国一律制度を実現し、抜本的に最低賃金を引き上げることや、中小企業支援策の拡充を実現するよう国への意見書の提出を求めるもの。

▽審査結果 不採択

●コロナワクチン予診票の保存期間を5年間から無期限での保管へ改めることを求める陳情

〈趣旨〉小山市として特例接種時の新型コロナウイルスワクチン接種の予診票の保存期間を現行の5年間から無期限の保管に改め、かつ紙で保管することを求めるもの。

▽審査結果 不採択

継続審査に付されていたもの

●政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情

※陳情の趣旨は、市議会だより令和6年5月1日号の6ページをご参照ください。

▽審議結果 不採択



市議会だより5月1日号

意見書

定例会最終日、民生常任委員会から1件の意見書案が提出されました。審議の結果、原案どおり可決し、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）、総務大臣および経済産業大臣に送付しました。

◆特定商取引に関する法律の抜本的改正を求める意見書

陳情第6-3号の採択を受け提出されたもの。

委員会審査から

議案等は、本会議で議決される前に、原則として各委員会で慎重な審査を経ていきます。委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総務



▼財産の取得について（消防ポンプ自動車）

問 最近オートマチック限定免許を持つ人も増えているが、現在の消防団車両の規格ごとの台数と、今後の消防団車両の整備計画は。

答 消防団車両は全部で39台あり、内訳はオートマチック車が34台、マニュアル車が5台です。今後は、車両整備更新計画に基づき、ワゴンタイプの消防団本部車を合わせた40台の車両を毎年2台ずつ更新します。

総務（陳情）

▼政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情

意見 この陳情を戒めとして職員へのパワハラ等がないようにし、小山市では庁舎内勧誘行為の実態がないのであれば本陳情は不採択としたい。

民生



▼小山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

問 指定ごみ袋と併せて導入される「もやすすかないごみ」という名称が分かりにくいと言われているが、どのように啓発するのか。

答 指定ごみ袋制度に関しては住民説明会を開催しています。環境課で計画した集会型の会議を37回開催するほか、自治会の依頼に応じた説明会も行い、6月17日現在、既に終了しているものも含め合計102回の説明を予定しています。ごみの分別徹底を促すことが指定ごみ袋導入の目的であるため、「もやすすかないごみ」という名称を浸透させるとともに、丁寧な説明を繰り返していきたいと考えています。

民生（請願・陳情）

▼国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願

▼現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情書

意見 マイナ保険証の読み取り不良は機器側の問題であり、マイナ保険証の普及率とは別の問題である。また、マイナ保険証が未登録の方には資格確認書が発行されることから、医療機関の受診には支障がないと思われるため、本請願・陳情は不採択としたい。

意見 現行の健康保険証の廃止は、いつ実施しても不満が出ると思われるため、思い切ってやるしかない。また、マイナ保険証には確定申告が容易になることや、健康保険証の不正利用を防止できるなどのメリットがあるため、本請願・陳情は不採択としたい。

意見 現行の健康保険証を半年後に廃止することは、市民や医療機関の混乱を招く恐れがあるため、本請願・陳情は採択としたい。

▼消費者被害を防止、救済するため、特定商取引法の抜本的な法改正を求める意見書を政府等に提出することを求める件

意見 SNSやスマートフォン等による消費者トラブルは多種多様で巧妙化しており、市内にも多くの被害者がいる。国が率先して取り組むべき案件なので、本陳情は採択としたい。

▼コロナワクチン予診票の保存期間を5年間から無期限での保管へ改めることを求める陳情

意見 紙媒体での無期限の保管は、保管場所の問題があり難しいと思われる。担当課から、データでの保管を視野に入れ保存期間の延長を検討するとの説明があったため、本陳情は不採択としたい。

教育経済



▼小山市新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者等利子補給事業基金条例の廃止について

問 利子補給事業の実績、中小企業の倒産件数、および基金残高と残高の用途について伺う。

答 利子補給事業の開始から令和6年4月までの実績は、186企業延べ500件で、交付総額は約6400万円、基金残高は約1900万円です。基金残高については、利子も含め国へ全額返還します。中小企業の倒産件数は、令和4年度が7件、令和5年度が11件で、ゼロゼロ融資制度が終了したこと等から若干微増傾向にあります。

教育経済（陳情）

▼「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

意見 日本経済を下支えしている中小企業および個人店舗は、コロナ禍を通じさまざまな工夫を凝らし経営してきたが、現時点で法改正をすると経営が立ち行かなくなる恐れがある。また、現在の物価高騰に鑑み、労働者のために賃上げをするという議論は必要ではあるが、法改正については時期尚早と考えるため、本陳情は不採択としたい。

建設水道



▼財産の取得について（コミュニティバス車両）

問 おーバスの老朽化に伴う、今後の車両更新の方針について伺う。

答 現在の運行事業者4社のうち、1社は自社単独で車両購入から運行まで運用できるものと認識していますが、他の3社については自社単独での車両の購入が難しいため、市と事業者で話し合い検討していきます。

予算審査



▼令和6年度小山市一般会計補正予算（第2号）

問 定額減税補足給付金事業について、定額減税しきれないと見込まれる方や自営業者にはどのように対応するのか。

答 1人につき所得税から3万円、個人住民税所得割から1万円の定額減税が行われます。定額減税しきれないと見込まれる方に対しては、所得税から減税しきれない額と個人住民税所得割から減税しきれない額を合算して1万円単位に切り上げた額が、調整給付金として支給されます。なお、調整給付の対象者には、7月末以降に順次確認書を送ります。また、自営業者には、原則として令和6年分の確定申告を行った際に減税される予定です。小山市では、特設窓口やコールセンター、ポータルサイトを開設するなど、制度の周知を推進しています。

市政を問う

6月定例会 市政一般質問



各議員の顔写真の下の二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、質問の動画をご覧いただけます。

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。



※イラストの二次元コードはイメージです。

会派代表質問（発言順に掲載）

自民未来塾



廣瀬 武蔵
議員

問 平日に子どもが保護者と共に校外学習ができる日「ラーケーション」の導入について伺う。

教育長 ラーケーションは全国的に導入が進んでおり、栃木県でも観光産業が主力の日光市が本制度を導入しています。また、他県の保護者アンケートでは「土日に休みにくい家庭でも子どもとのふれあいが増える」、「校外でしかできない学びがある」ということなどが挙げられています。教育委員会では、すでに本制度に取り組んでいる自治体における成果や課題、教育的効果について調査研究していきます。

福田 幸平
関 良平
小川 亘
福田 洋一
篠崎 佳之
高橋 栄

問 市制施行70周年記念の「小山の花火」について特徴を伺う。

市長 令和6年度は市制70周年を記念して、前夜祭では、令和5年度に開催した盆踊りマルシェをさらに盛り上げるため、プロレスを追加実施します。また、花火大会では、LEDを搭載した500機のドローンを使用し、幻想的な光の軌跡と音楽の演出によるドローンショーを新たに開催します。さらに、城山公園など3つの有料観覧席を新たに設置します。多くの皆さまが安全に楽しめるよう、実行委員会において万全の体制を整えていきます。



動画は
こちら

質問事項 ①小・中・義務教育学校「平日休暇制度」ラーケーション ②生涯学習センター ③物流問題
④庁舎内設定温度 ⑤JR小山駅南口改札 ⑥おやまサマーフェスティバル2024

視察来訪

(5月)
9日 野木町議会1名=ご遺族支援コーナーについて
27日 埼玉県さいたま市議会2名=共創まちづくりデジタルプラットフォーム

ムを用いたまちづくりについて
(7月)
3日 大阪府岸和田市議会4名=おーバス事業について

議場見学

(5月)
24日 東城南小 98名
(6月)
20日 豊田小 40名
27日 旭小 79名

市 政 会



植村 一
議員

小林 英恵
橋本 守行
嶋田 積男
渡辺 一男
細野 大樹



動画は
こちら

問 小山市立地適正化計画に沿った小山駅西口地区におけるまちづくりについて、市の考えは。

市長 小山市立地適正化計画では、小山駅周辺地区を市の中心拠点として位置づけ、各種都市機能が集積する生活利便性が高いエリアにする取り組み等を実施してきました。西口地区については、市役所本庁舎の整備や、街なかへの居住推進・都市機能充実のため、城山町三丁目第一地区・第二地区および城山町二丁目第一地区の市街地再開発事業を実施してきました。また、中心拠点としての魅力向上のため、城山公園の再整備や御殿広場等の民間活用による賑わい創出、遊休不動産の活用による店舗出店の促進、まちのプロムナードの整備、テラスオヤマの取り組み等を実施してきました。今後は、これらのハード事業やソフト事業を組み合わせ、街の底上げを図り、魅力ある中心拠点として発展するよう、官民連携によるまちづくりを推進します。

問 本市における浄化槽の管理状況および今後の法定点検・清掃の促進に向けた取り組みについて、市の考えは。

市民生活部長 浄化槽の管理状況は、年1回義務付けられている法定検査の受検率が指標となります。小山市の受検率は令和4年度末で49.1パーセントでしたが、廃止済みと判断できる浄化槽を除くと、65.7パーセントとなる見通しです。浄化槽の点検・清掃の促進については、栃木県浄化槽協会の協力により、法定検査の未受検者約3500人に対し、令和6年5月末から受検促進通知を送付し適切な維持管理を指導しています。また、市の広報やホームページ、行政テレビ、SNS等により、浄化槽の維持管理について啓発を行っています。

質問事項 ①小山駅西口地区の都市整備 ②美田地区中心施設の整備 ③小・中・義務教育学校における学校教育 ④高齢者福祉施設サービスの充実 ⑤浄化槽 ⑥市が管理する歩道橋

市民派21



石川 敦子
議員

山野井 孝
大内 晃子
直井 一博



動画は
こちら

問 令和6年3月31日で市制70周年を迎えました。70周年に対する浅野市長の思い、および市民に向けたPRについて伺いたい。

市長 これまでの小山市の発展は市民や関係する方々との協働のたまものであり、ご尽力いただいた多くの皆さまへ心より感謝申し上げます。現在、市の未来に向けて全ての市民が安心して誇りを持って暮らせるまちづくりに取り組んでいます。今後も全ての市民が快適に暮らし、住み続けたいと感じられる田園環境と都市環境の調和のとれた田園環境都市おやまを将来にわたり発展させるよう努めていきます。

総務部長 PRについては、記念式典や記念誌の発行等を実施する記念事業、市公式ホームページ内特設サイトの開設、および行政テレビCM放映等の広報活動により実施します。

問 要介護認定の判定までに時間がかかる理由、および認定調査員の数は現状で足りているのかを伺いたい。

保健福祉部長 介護保険認定申請をすると、認定調査員が自宅等を訪問し、心身の状態を調査するとともに、主治医の意見書に基づき、介護認定審査会において介護度を審査・判定しているため、認定までは通常1カ月から1カ月半程度必要となります。令和5年度は調査員の欠員が重なり、認定まで1カ月半から2カ月程度を要していました。調査員の補充により徐々に遅れは解消できると考えていますが、新規・変更申請の増加が見込まれるため、調査員の増員について前向きに検討します。

質問事項 ①市民協働 ②商業観光行政 ③福祉行政 ④防災

おやま創生会



土方 美代
議員

森田 晃吉
苅部 勉
永田健一郎



動画は
こちら

問 上下水道基幹管路等の耐震化および老朽化問題。AI診断やロボットを導入することによって効率的に修理修繕が図れるのでは。

建設水道部長 AI管路診断は、管路破損の客観的要因を整理することで、管路更新の優先順位の決定に役立てることができます。しかし、その精度に問題があるとの見解もあることから、本市での導入は慎重にならざるを得ません。一方で、AI管路診断の結果に基づいた管路内へのカメラ調査等の実施は精度の向上につながり、効率的な管路更新が実現できると思われるため、先進地における事例等を精査しながら、前向きに検討していきます。

問 新紙幣発行に伴う経済対策として、新紙幣対応型の発券機導入や電子マネー導入に対する補助金等の支援ができないか。

産業観光部長 国の補助制度として、中小企業省力化投資補助金、IT導入補助金、小規模事業者持続化補助金等が該当するため、商工団体と連携して、制度の啓発、電子マネーやコード決済の普及に努めます。また、市融資制度の設備資金や伴走支援型経営安定資金を活用し、小規模事業者を支援していきます。なお、伴走支援型経営安定資金は、全国统一制度の取り扱い期間が令和6年6月30日までとなるため、今後新たな融資制度を市内金融機関と検討していきます。

- 質問事項 ①太陽光発電施設等の火災 ②基幹管路等の耐震化 ③災害時の消防重機のあり方
④救急業務のマイナンバーカード活用 ⑤災害弱者の個別避難計画策定
⑥自治体ライドシェア ⑦新紙幣発券に伴う経済対策

個人質問 (発言順に掲載)



荒川 美代子
議員



動画は
こちら

問 能登半島地震での住宅倒壊の要因として家屋の耐震化率の低さが指摘されている。小山市木造住宅耐震対策助成事業について伺う。

都市整備部長 小山市木造住宅耐震対策助成事業は平成20年から実施してきた事業で、令和2年度時点の住宅耐震化率の実績値は91パーセントであり、令和7年度の目標値を95パーセントとしています。旧耐震基準で建築された木造住宅の所有者には、耐震診断費用の一部と、耐震改修または耐震建替えの工事費の一部を補助してきましたが、令和6年度より耐震診断費用の一部補助を改め無料で耐震診断士を派遣し、実施しています。

- 質問事項 ①人口減少問題 ②保健福祉行政 ③防災・減災



苅部 勉
議員



動画は
こちら

問 タブレット端末を用いた心の健康観察を推進し、児童生徒の小さなSOSを早期に発見することで、不登校の未然防止につなげられないか。

教育長 心の健康観察は、不安や悩みを抱える児童生徒の状況を把握し、早期発見・早期支援をするために大切です。市内各学校では、教育相談やアンケートなどにより日頃から児童生徒の様子をよく観察し、適切な支援に努めています。さらに、タブレット端末も活用し、児童生徒の不安や悩みなどを入力できるアプリを導入しています。今後も、タブレット端末を用いた心の健康観察の効果的な実施方法や、小さなSOSの早期発見に向けて、研究を進めていきます。

- 質問事項 ①自治体DXの推進 ②不登校児支援 ③放課後の子どもの居場所づくり ④市から委嘱されている役割の担い手不足



橋本 守行
議員



動画は
こちら

問 市には、国の脱炭素先行地域に採用されるような、地域の特性を生かした事業計画があるか。

総合政策部長 脱炭素先行地域は、2030年までにカーボンニュートラルを実現させる先駆性のあるモデルをつくる環境省の事業であり、地域の特性を生かした先進性・モデル性のほか、関係する地域住民、企業との合意形成など、地域が一丸となった形での事業構築が求められています。今後、市内の産学官連携はもとより、国や都道府県、地域間で連携しながら、脱炭素の基盤創りにもつなげる先行地域の適地を模索し、関係する地域住民、企業との調整を進めていきます。

※カーボンニュートラル 温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

質問事項 ①栗宮まちづくりの推進 ②温暖化対策 ③押切地区の集団移転



高橋 栄
議員



動画は
こちら

問 小山市手話言語条例を早期に制定すべきと考えるが、今後の予定について問う。

保健福祉部長 聴覚障がい者団体および関係各課と協議し、令和6年8月までに小山市手話言語条例の原案を作成し、学識経験者、各種障がい者団体および障がい者施設の代表、関係行政機関を構成員とする、小山市障害者施策推進協議会に諮問する予定です。その後、パブリックコメントを行い、令和7年2月議会へ条例制定案の上程を予定しています。

質問事項 ①小山市手話言語条例 ②小山市の防災対策 ③小山市のゼロカーボンに向けた取り組み



佐藤 忠博
議員



動画は
こちら

問 RSウイルスは乳幼児と高齢者が感染すると重症化しやすい。ワクチンには高齢者において82パーセントの発症予防効果があるとされているが、接種費用が高いため助成すべきでは。

保健福祉部長 北海道の^{かもえないむら}神恵内村および^{おびらちょう}小平町では、令和6年4月から全国に先駆けてRSウイルスワクチンの費用助成を開始したと聞いていますが、小山市としては、厚生労働省の定期接種化の方向性を注視しつつ、まずはRSウイルス感染症について周知・啓発に努めることから始めたいと考えています。その上で、高齢者へのワクチン接種に関する有効な知見の確立や、社会的ニーズの高まりなどを考慮し、適切な時期に公費助成を行えるよう、調査研究を進めていきます。

質問事項 ①保健福祉行政



平野 正敏
議員



動画は
こちら

問 浅野正富市長1期4年間の実績について問う。

市長 小山市長就任以来、市民の皆さまとの対話と連携を重視し、市民が主役のまちづくりに取り組んできました。子育て教育分野では第2子保育料の無償化や、こども医療費助成の拡大、小・中・義務教育学校の修繕や改修を行ってきました。また、産業分野では環境に配慮した持続可能な農業を推進するため、令和5年3月にオーガニックビレッジを県内で初めて宣言しました。さらに、市民との対話の下で進めている田園環境都市おやまビジョンについては、30年後の市民のウェルビーイングを目指し、さまざまな意見を聞きながら策定に向けて進んでいきたいと考えています。

質問事項 ①令和6年小山市長選挙 ②国民健康保険 ③公園整備事業



大平 拓史
議員



動画は
こちら

問 自転車の交通違反に対し、交通反則切符「青切符」制度が今後2年以内に導入されるが、ルール順守のための市の取り組みは。

市民生活部長 小山市としても、市民が交通ルールを守る意識を高めていく必要があると考えており、現在、幼稚園や保育所、学校、自治会、老人クラブ等を対象に、交通教育指導員による交通安全教室の実施に取り組んでいます。今後は、交通安全の指導および教育に道路交通法の改正内容も盛り込み、生活の中で必要な交通ルールや、決まりを守ることの大切さについて、講話や参加体験型の実技等により、具体的で分かりやすい内容の指導・啓発活動を実施していきます。

質問事項 ①防災・減災 ②自転車の活用



大内 晃子
議員



動画は
こちら

問 女性活躍推進に向けた女性特有の健康課題の解決のために、*フェムテックの活用や周知、今後の取り組みについて伺う。

総務部長 働く女性の妊娠・出産や更年期等に起因する望まない離職等を防ぐため、女性特有の健康課題を本人だけでなく企業や社会全体で解決していく方策として、フェムテックの活用が期待されています。市としても、フェムテックは女性活躍推進に向けた女性特有の健康課題の解決に有効であると認識していることから、まずはフェムテックに関する情報収集・啓発に努めます。

*フェムテック フィーメール（女性）とテクノロジーをかけた造語で、女性が抱える健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスのこと。

質問事項 ①教育行政 ②公園 ③市職員の働く環境 ④女性の健康 ⑤公共交通 ⑥駅周辺環境美化



直井 一博
議員



動画は
こちら

問 市街化調整区域では分譲開発基準を抑制する見直しがあったが、駆け込み申請の状況と、既存の住宅の活用について伺う。

都市整備部長 令和6年4月1日の小山市開発許可基準に関する条例の指定区域変更に伴い、令和6年3月の申請実績は22件（399区画）となっています。市街化調整区域内の住宅は居住者や敷地利用者に限定されるものが多いため、第三者が利用するには、居住者等の制限を外すための手続きとして、建築物の用途変更が必要となります。この手続きは、空き家等の処分や利活用に有効な手段となるため、希望者には状況に応じた適切な案内をしていきます。

質問事項 ①都市整備行政



永田 健一郎
議員



動画は
こちら

問 市内に分娩できる施設は1カ所しかない。産科開業に向けての支援制度など何らかの対策が必要と思うが、市の考えは。

保健福祉部長 市としては、この現状を大きな課題と捉えています。新小山市民病院では、産科再開に向けた第一歩として、ほかの周産期病院と連携し、婦人科外来を開設しています。今後は、新小山市民病院第4期中期目標においても、周産期医療の提供体制の確保について盛り込むことを検討していきます。また、産科医確保に向けては、栃木県や小山地区医師会と連携を図りながら、全国の先駆的な取り組み等についても調査研究を進めていきます。

質問事項 ①市内における分娩体制の充実 ②おーバスの利用促進 ③高岳引込線の活用 ④療育支援の充実 ⑤不登校に関する社会的理解の醸成 ⑥学校等へのエアコン設置の進捗



鶴見 貴弘
議員



動画は
こちら

問 新博物館の建設予定地「間々田2431番地3」に関し、パブリックコメントでは見直しすべきとの声があるが、市の考えは。

教育部長 建設予定地は、新博物館整備にあたって大変重要な事項であるため、市議会や間々田のじゃがまいた保存会に説明を行った上で、新小山市立博物館整備検討懇話会および委員会で検討を重ね決定しています。また、建設予定地は国道4号に近接するなど交通アクセスもよく、同じく整備予定のじゃがまいた伝承館との親和性も高いことから、両者を一体的に整備していく方針です。

質問事項 ①新型コロナワクチン後遺症患者の支援と今後の対応 ②新小山市立博物館整備基本構想

次回定例会の予定

9月 3日(火)	本会議(開会・議案上程)
9月 5日(木)	本会議(一般質問)
9月 6日(金)	本会議(一般質問)
9月 9日(月)	本会議(一般質問)
9月10日(火)	本会議(一般質問・付託)
9月12日(木)	委員会
9月13日(金)	委員会
9月17日(火)	委員会
9月18日(水)	委員会
9月19日(木)	委員会
9月30日(月)	本会議(採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定後、小山市議会ホームページでお知らせします。



令和6年第3回定例会の傍聴者数

6月定例会の傍聴者数は、59人でした。

6月 6日 = 0人 ・ 10日 = 6人
11日 = 6人 ・ 12日 = 36人
13日 = 10人 ・ 28日 = 1人



表彰

議員在職25年表彰

5月に開かれた第100回全国市議会議長会定期総会にて関良平議員が表彰されました。



暑中お見舞い申し上げます

議長	篠崎 佳之	副議長	小林 英恵
鶴見 貴弘	廣瀬 武蔵	永田健一朗	
直井 一博	島 朋幸	石川 敦子	
大内 晃子	片山 照美	平野 正敏	
細野 大樹	大平 拓史	渡辺 一男	
佐藤 忠博	高橋 栄	嶋田 積男	
土方 美代	橋本 守行	森田 晃吉	
植村 一	苅部 勉	福田 幸平	
福田 洋一	山野井 孝	荒川美代子	
関 良平			

小山市議会は公職選挙法の遵守はもとより、議員本来の使命に専心するため、初盆のご挨拶ならびに暑中お見舞いのご挨拶は自粛しています。市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。

小山市議会議員一同

編集後記

再整備が終わり6月にオープンした城山公園。奥の奥まで美しく手入れされており、いつ行っても気持ちのよい公園です。テラスからは、思川、関東平野からの日光連山と広い空と四季の景色を楽しむことができます。昨年、4年ぶりに男体山登拝大祭で山頂でのご来光を拝むべく、夜間登山にチャレンジしました。その道のりは想像を絶する険しさで、初心者の方は山頂に着くまで5時間以上かかってしまいました。暗闇で先が見えない不安の中、仲間と声をかけあい一步一步進みましたが、山頂からの大自然の景色はすべての疲れと苦勞を吹き飛ばす感慨深いものでした。空がつながっているように、景色もつながっており、城山公園からもその時の景色が思い浮かぶのです。はて、今年のご来光を拝めているのでしょうか。議会広報では、議会の景色を市民の皆さまによりよく伝えていけますよう、広報委員一同努めてまいります。(大内)